

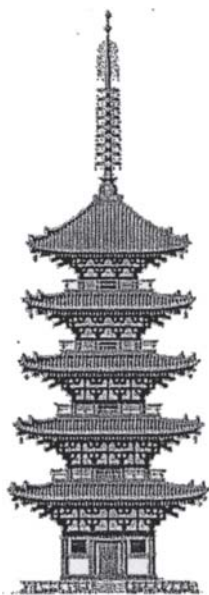
弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。いよいよ夏本番です。くれぐれもご自愛ください。さて、**お釈迦様の生涯**をお伝えしている今年のかわら版。先月に続いて今月も続々と誕生するお釈迦様の**弟子Ⅱ四衆(ししゅ)**をご紹介します。

★竹林精舎(ちくりんしょうじゃ)

六十一人の阿羅漢(あらかん)が誕生した後、お釈迦様はマガダ国に向いました。道中、**カーシャパ三兄弟**に出会います。火神を祭り、蛇を操って街道を支配。**事火外道(じかげどう)**と呼ばれて恐れられていました。三兄弟と神通力を競い合って打ち負かしたため、三兄弟に従っていた**千人**の配下がお釈迦様

の弟子となりました。

マガダ国に着くと、**ビンピサー王**もお釈迦様を歓待。帰依するとともに、郊外の竹林に修行所を寄進。初めての寺院**竹林精舎**が誕生しました。

★ラージャグリハの高弟

マガダ国の都**ラージャグリハ**で、お釈迦様は後に高弟となる多くの人々と出会います。都に住んでいた**カーシャパ族**の**ピッパリ**。お釈迦様の気高さに感服して弟子入り。**マハーカーシャパ**と呼ばれ、後に仏教教団を継承します。

都近郊の村に住む**サンジャヤ**という哲学者の二人の高弟、**シャーリフトラ**と**マウドガルヤーナ**。自分たちが指導する五百人の弟子たちと一緒に、お釈迦様に帰依しました。サンジャヤは大いに悔しがったそうです。

漢訳経典では、マハーカーシャパは**摩訶迦葉(まかしよう)**、シャーリフトラは**舍利弗(しゃりほつ)**、マウドガルヤーナは**目健連(もくけんれん)**と呼ば

ばれています。

★尼僧のルーツ

その後、お釈迦様は故郷シャーイクヤ国の都カピラヴァスツに里帰り。

父である**シュッドーダナ王**が帰依したことから、シャーイクヤ国の多くの青年も出家。その中には、お釈迦様の侍者となる**アーナンダ(阿難Ⅱあなん)**、義弟の**ナンダ(難陀)**、息子の**ラーフラ(羅候羅Ⅱらごら)**、従兄弟の**デーヴァダッタ(提婆達多Ⅱだいばだつた)**、床屋の**ウパーリ(憂波離)**などが含まれます。デーヴァダッタは後にお釈迦様に背くことになりました。義母の**マハーフラジャーパーティ**、妻の**ヤショーダラー**もお釈迦様に懇願して出家。ここに初めて尼僧のルーツが誕生しました。

★祇園精舎(ぎおんしょうじゃ)

コーサラ国では王妃の**マッリカー**が熱心な仏教信者となり、王妃の勧めで**フラセーナジット**王も帰依。

また、同国の長者**スダッタ**は、都のシュラーヴァステイにお釈迦様を招くために**祇園精舎**を建



祇園精舎の敷地と三つの仏堂

てて寄進しました。

修行者となる僧、尼僧だけでなく、こうして在家信者も増えていきました。僧、尼僧、男性信者、女性信者を**四衆(ししゅ)**と言います。

また、**在家**は**出家**に対する言葉。出家しないで俗世で暮らすことを表します。

信者も増え、教団も大きくなりましたが、お釈迦様をはじめとする高僧は**三衣一鉢(さんねいっぱつ)**、つまり、三種の衣と鉢一つだけを持って修行を続けていたそうです。

★お釈迦様の晩年

お釈迦様にも辛いことはありました。来月は**お釈迦様の晩年**をお伝えします。乞ご期待。